



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-201 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「より良い明日のために今日を築く」 “Building today for a better tomorrow”
アジア地域会長主題	「アクション！」 “Action!”
西日本区理事主題	「風となれ、ひかりとなれ」
中部部長主題	「輪を広げ 明るく楽しく 元気よく YMCAとともに」
金沢クラブ会長主題	「愛し合い 助け合い 楽しい仲間づくり！ ～YMCAとEMC活動の充実を～」

2020 3 月間強調

J W F

今月の聖句 (数澤輝夫君)

イエスは再び言われた。「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。」

ヨハネによる福音書 8章 12節

3月強調月間

JWFは皆様の厚意によって支えられています。個人やクラブの記念に合わせて献金をお願いします。

西野陽一 JWF管理委員長
(大阪高槻クラブ)

3月例会 プログラム

とき 2020年3月19日 (Thu.) 18:30~20:30
ところ 金沢ニューグランドホテル
会費 ¥3,000 (会員は無料) ¥2,000円 (メネット)

司会 西 信之君
開会・点鐘 山内ミハル会長
主 題 司 会 者
ワイズソング 一 同
今月の聖句 数澤輝夫君
ハッピーバースデー 山内ミハル会長
ゲスト紹介 山内ミハル会長
食前の感謝 幸正一誠君
スピーチ 小 木 尚 氏

“操業140年の郵政事業”

委員会報告
ニコニコタイム 吉川與志子さん
YMCAの歌 一 同
閉会・点鐘 山内ミハル会長

2月 クラブ活動状況

第1例会 (2月20日 Thu.)

メ ン：朝倉、伊藤、数澤、北、山内、吉川 (6名)
メキップ：幸正 (1名)
出席率：88% 充足率 150%
メネット：朝倉、伊藤、数澤 (3名)
ゲ ス ト：中村さん、森田さん (2名)

第2例会 (2月1日 Sat.)

メ ン：朝倉、伊藤、数澤、北、幸正、山内 (6名)
メネット：数澤、朝倉 (2名)

ニコニコタイム

9,000円

クラブファンド

累計 248,000円

B Fポイント

切手	2,400円	累計	2,400円
現金	8,000円	累計	8,000円

会 長 山内ミハル 書 記 西 信之
直前会長 幸正一誠 会 計 朝倉みゆき
副会長 数澤輝夫 ネット会長 数澤淑子
伊藤仁信 ネット会計 伊藤悦子

第一例会：毎月第三木曜日 18:30~20:30
金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311
第二例会：毎月1日 18:30~20:00
金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

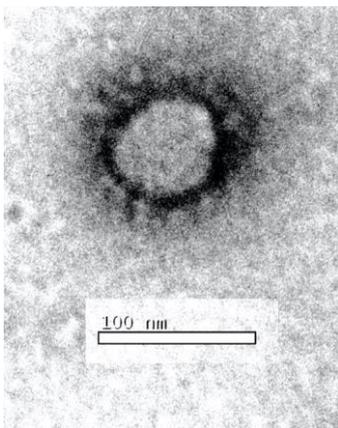
ウイルスと人間の戦い

西 信之

今流行している新型コロナウイルス (COVID-19) の怖さは、肺の中の肺胞に潜伏して増殖を待っているところにある。検査結果が陰性 (十分な数まで増殖していない) となっても条件が整えば急速に増殖を開始し、発熱やひどい咳や痰を伴う症状を発症する。基本的には、喉を通して肺にウイルスを入れなければ良いのだがこれが難しい。

東京都健康安全センターから発表された電子顕微鏡写真にスケールをいれたものを図1に示す。細長いスケールは $100\text{nm}=0.0001\text{mm}$ で、 1mm の1万分の1の大きさで、これを100%除去するマスクは無い。ガーゼのマスクなどでは効果がない。むしろ口から出た水分に吸着されてマスクを外したときに手に付着し、危険かも知れない。私は、ナノ物質を扱っているので、実験時は特別のマスクをしている。これは、むしろ息苦しい位だが、肺を守るためには必要なマスクである。コロナウイルスという名前は、装飾突起を持った王冠を意味するラテン語に由来し、球状の本体に多くの突起が出ており、この突起が人間の細胞に付着する。

ウイルスは無生物で有り、自分で移動は出来ない。飛沫として水分と一緒に飛散し、付着し、最終的に細胞膜に付着して増殖する。遺伝子を持っており、これがころころと変化するので、折角抗体ができても効かなくなる。



人類の始めが、何処から始まるのかは難しいが、このようなウイルスを退治できる抗体が出来るようになってからとも言えるだろう。10億年位前と考えられる。この間、様々なウイルスとの戦いの歴史

を経て、尚、人類は新しいウイルスとの戦いを続けている。

1918年には、インフルエンザの流行で5千万人を超える死者を出している。これは、中世に於けるペストの流行に匹敵する。ペストはウイルスではなく細菌であって、蚤や家畜を介して伝染するが、今では様々な薬が開発され大流行にはならない。この600年間ペストの遺伝子は変化していないと言われ

ている。これに対してウイルスの遺伝子は組み換えを頻繁に起こし、その度に、人類を脅かす。若い内には免疫力が高くこのウイルスに負けない抵抗力を有しているが、病的弱者と言われる老人になるとこれが著しく低下する。

適切な抗ウイルス薬の開発が実現するまで、自己防衛するしか無い。折角、10億年間命を長らえて来たので、負けられない。1年以内に収束するであろうが、同じような戦いは、最後まで続く。せつせと納豆や山芋など根菜類、ヨーグルト等を食べて免疫力・抵抗力強化を図る必要があるのだろうか。

小木 尚氏プロフィール

1971年生まれ

住所：金沢市笠舞

家族：妻 子2人

経歴：金沢福井中央郵便局

金沢中央郵便局

金沢南郵便局

金沢石引郵便局局長

【2月例会の報告】

2月例会は、ホテルの都合でトレドの奥の「カトレア」での集会となりました。いつも第二例会を行う部屋で、参加者が11名といういつになく少人数であったため、それほど窮屈な思いをすることもなく会の運営ができ、食事はいつもよりおしゃれで、少し豪華であったようです。

ピンクシャツデーを意識して、会員はみなおそろいのピンクシャツで例会に参加しました。

スピーチの概要は、数澤メネット会長ご本人に書いていただきました。

(山内ミハル記)



「東モンゴル スフバートル探鳥旅行記」

2019年6月3日～10日、7泊8日の日程で「東モンゴル スフバートル探鳥旅行」に参加した。ツアーのメンバーは男6名、女6名、うち石川県から参加の5名以外はモンゴル探鳥5～8回というベテランバーダー、そんなマニヤックなツアーに初参加の私、ちょっと場違いかも…と、ここに来て少々怖気づくも引き下がるわけにも行かず機上の人となった。チンギスハーン空港にはガイドのバヤラさんがお出迎え、バスでホテルへと移動、車窓からはなんとベニハシガラスが！赤い嘴が確認できて大感激、これがモンゴルなんだ！と期待が膨らむ。4日の早朝探鳥会を皮切りに1週間の探鳥ツアーが始まった。



今回の探鳥地はウランバートルからヘンティ県、スフバートル県の2県にまたがった草原、川の周辺、小さな谷あいなど。毎日早朝から日没近くまで車で移動しながらの探鳥はかなり過酷な行程だった。車はトヨタの中古車3台に分乗し、1台は荷物専用車として後に続いた。車は凸凹悪路のものともせず大草原をひた走り、車窓ウオッチングを楽しみながら、モンゴルの大草原の醍醐味を存分に味わった。ガイドのバヤラさんはとても明るくフレンドリーな方で日本語も堪能、野鳥のガイドはオトゴーさん、無口でシャイな感じの男性、じいっと鳥を探しているときのまなざしが素敵だ。広大な草原のどこにどんな鳥がいるか、モンゴルの自然を知りつくして便り甲斐のあるガイドだ。あとで聞いたことだが、2年ほど前NHKの「ダーウィンが来た マヌルネコ」（別名モウコヤマネコ）に現地の第一人者として出演していたんだそうだ。知らずに素晴らしい人に案内してもらっていたようだ。先頭車のオトゴーさんから鳥発見や生息地到着の伝令が入ると、車から降りて望遠鏡や双眼鏡で鳥を探す。憧れの鳥たちが次から次へ（紙面が許さないなので名前は省略）いとも

簡単に見ることが出来た。山あり、谷あり、川もバシバシ、フルスピードで中古車は駆ける、何度もオーバーヒート、パンクに見舞われた。運転手さんは慣れたもので、回復するまで車と人の休憩となる。男の人は鳥を見てる振りして小用、よくぞ男に生まれけりだ。女性はバヤラさんとトイレ探し？ちょっとした窪みや小山の影など、バヤラさんは地形を知り尽くしていて、「この辺がいいね！」と自らお花摘みの姿勢、みんな右へ做えでのどかなものだ。今思い出しても笑ってしまう。どこまでも青く澄んだ空、見渡す限りの地平線、そこで出会った鳥たち、一面可憐な草花のお花畑、のんびり草を食む羊や牛馬の群れ、それらの情景は感動の連続、私にとってはまさに一期一会の出会いだった。夜は食事の後、ミーティングで「とり合わせ」、その日観た鳥をみんなで出し合って記録する。今回確認できた野鳥は121種、内、数澤が確認できたのは94種。8日間の観察延べ数は915種であった。

ゲルでの宿泊も得難い体験だった。ゲルは遊牧の移動式組み立て住居で丸い形をしている。木の骨組みにフェルトを被せてあるだけ、真ん中に牛糞ストーブがあり、朝晩、ストーブを焚いてくれる。激しい雨の晩にその煙突を伝って雨が中に入って来て困った。私たちが泊まったゲルの支柱や梁には美しい彫刻や模様が施されていた。ゲルでの食事は手作りですとても美味しかった。なかでも羊の肉を使った料理は素朴だが美味しい。私は伝統料理のポーズという肉饅頭のような蒸し物が一番美味しいと思った。帰ったら絶対作ってみたいと思ったが、しっかりレシピを聴かなかったので作れない。何とかレシピを探してポーズ作りに挑戦したい。食事の後バヤラさんが、「このお肉は来る途中の群れにいた子羊よ」とニコニコしながら教えてくれた。モンゴルの文化にじかに触れることが出来て貴重な体験だった。

（数澤 淑子記）



【2月第二例会の報告】

日 時：2月1日（土）13：30～16：00
場 所：金沢ニューグランドホテル カトレア
出席者：朝倉メネット、伊藤、数澤メネット、北、
幸正、山内

- 議題1：澁谷ワイズの会員継続について
- 2：皆森さんの入会について
 - 3：西日本区大会について
8名参加予定
 - 4：3月の会長・主査研修会について
次期会長・山内と次期中部メネット主
査・数澤淑子さんが出席予定
 - 5：3月の第二例会・ブリテン編集委員会の日
程変更について
(山内ミハル 記)

~~~~~YMCAからのお知らせ~~~~~

☆理事会・評議員会開催予定

日時：未定(3月中)
場所：金沢市長土堀青少年交流センター(予定)

☆金沢ユースプロジェクト成果発表会は中止

Kappy Birthday

北 肇夫	3月26日
数澤 淑子	3月4日

4月の担当

聖 句	西 信之君
ブリテン	数澤 輝夫君
	朝倉 秀之君



メ ネット 報



小さなお話

《その1》

「車内での移動をスムーズにするため、リュックは背負わずにご乗車ください」と最近、北鉄路線バスの車内放送で流れています。以前、学生の帰宅時間帯に乗り合わせたときのことです。一台目に置いて行かれましたので、つぎのバスに何とか乗り込みました。背の高いリュックサックを担いだ男の子のすき間に潜り込み、乗車しました。しばらくすると、急ブレーキがかかりました。運転手は「お怪我はありませんか？」とアナウンスしていますが、誰も身動きできない満員で、リュックサックがクッションになり、転びませんでした。何が幸いするか分かりませんネ。

《その2》

夫「おい」、わたし「はい」。それを聞いていた孫が不思議な顔で、「おばあちゃんの名前は“おい”なの?」。その家庭では、お互い名前と呼んでいます。皆様のお宅では、いかがですか?

《その3》

ユズ風呂に入り日帰り温泉へ行きました。お湯が落ちる所には囲いがあり、ユズが多数浮いています。その周りにプラスチックのアヒルが泳いでいるつもりらしくあるのですが、全部バランスが悪く逆立ちして、お腹が見えていました。アヒルはない方が良いと思います。が・・・。

《その4》

お正月によそのお宅に伺いました。テーブルには、きれいな花が生けてあります。そこに飼った猫がヒョいと現れました。銀色に塗られたネコヤナギに猫パンチをしながら、楽しそうに・美味しそうに食べ始めました。猫の習性を知らないわたしは、しばらく珍しくて眺めていました。アツという間にネコヤナギは、3分の1程になりました。他の花には見向きもしません。その後、猫のお腹具合は知りません。



いたずらっ子「まぶ」君

《その5》

長年、自宅の道路際の花壇に植えてあるスイセンに花が着きませんでした。昨年、夫が上方にある樹木をバッサリ切ったので、今年は何年か振りに蕾が見えます。大変嬉しく思います。

(北 佳子 記)